

# 委員会報告

## 福祉文教常任委員会 神石高原町学校教育の現状について調査



福祉文教常任委員会

福祉文教常任委員六名が三和中学校において、町立小中学校長十一名、及び教育委員会の職員四名と、学校教育の現状、各小中学校の取り組みについて報告を受け、研修を行いました。

各校とも、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「信頼される学校づくり」を経営理念として、それぞれ目標を持って取り組んでいる。意見交換の中で出された主なものは次のとおり。委員 確かな学力をつけるために学習習慣、生活リズムの取り組みは、回答 栄養教諭が平成

十九年から二十一年に位置づけられる。現在研修中である。

委員 小学校に英語教育が導入されるが、高学年はともかく、低学年に理解できるのか。

回答 早い時期から英語教育を行っていると違和感なく入っている。

英語は必要である。低学年はゲーム感覚などによって取り組む。委員 各小中学校での防犯対策は、

回答 各学校から具体的な対策が報告された。

主なものは、安全マップ、防犯ブザー、地域の人の協力、不審者情報の提供などが取り組まれています。

### 【各学校の取り組み】

学校名	学校教育目標	取り組み（研究主題）
来見小学校	知・徳・体の調和のとれた力をもった子どもの育成	科学的な見方・考え方を育む理科教育の創造 ～視聴覚機器の効果的な活用を通して～
三和小学校	豊かな心をもち、主体的に生きる子どもの育成	コミュニケーション能力の育成をめざした英語活動
高蓋小学校	自ら学ぶ意欲をもった子どもの育成	説明文の学習を通して表現力を高める ～自分の思いを書いて説明する力の育成～
二幸小学校	豊かな創造力と自ら考え判断し行動する責任感の強い子どもの育成	書いて伝える力を高める国語授業をめざして ～「読むこと」の活動を通して、「書くこと」の力を高める～
神石小学校	21世紀を誠実にねばり強く、心豊かに生きる子どもの育成	「話し合う力」を育てる授業の創造 ～国語科でつけた対話能力を、教科・領域等の学習に生かす取り組みを通して～
油木小学校	未来を拓く、心豊かなたくましい子どもの育成	学校に来るのが楽しみな学校をつくる 気付きを大切に、真理追究の楽しさ工夫のおもしろさ、できる喜び、発見の感動ある授業をつくる
豊松小学校	自ら考え、進んで行動する心優しい子どもの育成	自ら考え、基礎基本の力を確実に身につけた子どもの育成ほか
三和中学校	自ら学び、自ら考え行動できる心豊かな生徒の育成	生徒・保護者・地域の願いに応えた知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、未来を拓く生徒の育成
神石中学校	明日を拓く力と意欲をもった生徒の育成	We can do itを合言葉に、知・徳・体の調和のとれ、学びや感動を共有できる学校づくり
油木中学校	自ら学び、行動し、豊かな社会力をもった生徒の育成	自立した生徒を育成するための「絆づくりの推進」と「社会性育成力の強化」
豊松中学校	確かな学力と豊かな心を持った実践力のある生徒の育成	人間力・学力・体力の深化を回り、総和としての生きる力の育成

## 総務企画常任委員会 中山間地域における指定管理者の調査

総務企画常任委員会は  
総合開発で井原市土地開  
発公社の山王台地開発事  
業（四季が丘団地）の取  
り組みと経過・指定管  
理者制度導入について調  
査した。井原市では公の  
施設（百六十八施設）で  
直営・管理委託のうち一  
施設が既に指定管理者で  
あった。

●各施設のヒアリング  
等を平成十七年六月に  
行った。  
●七月に指定管理者制度  
導入検討会で、指定管  
理者制度（二十八施設）  
と直営（百四十八施設）  
を決定。  
●施設設置条例の制度  
改正を平成十七年九月  
議会で議決。

●公募、単独指定により  
指定管理者を選定し、  
選定委員会の十一名で  
設置要綱を平成十七年  
十一月に決定。  
●平成十七年十二月議  
会の議決で、指定管理  
者と協定。平成十八年  
四月より管理運営を实  
施。

●笠岡インターチェンジ  
に近く、アクセス網の整  
備に併せ、工業・流通  
鉄道井原線の沿線開発に  
より、バランスのとれた  
地域づくりの形成を図っ  
ている。

また、若者の定住促進  
や長寿社会に対応して高  
齢者や障害者に配慮した  
福祉施設用地と企業用地  
を併用している。

●野外活動施設の「経ヶ  
丸グリーンパーク」は、  
公募により株式会社セル  
テックサービスが五年  
間契約で運営している。  
●井原市芳井健康増進福  
祉施設（プール、風呂）  
も公募により「コナミ  
スポーツ棟」が十年間  
契約で運営している。

●「新地方行革指針」  
ではすべての公の施設に  
ついて、存廃を含めて管  
理のあり方を検証するよ  
う求めている。  
井原市は制度導入に  
よる運営費の節減額を

千二十六万円と試算して  
いる。集客力の高い施設  
は民間運営で、従来の委  
託先をそのまま管理者に  
指定しているケースも多  
くあった。

十三年度～平成十六年度  
である。

井関地区総合開発よ  
り規模が大きく、土地開  
発公社が事業主体であっ  
た。  
立地条件が良いので販  
売価格も高く設定して、  
優遇措置を多く設けてい  
た。

委託費  
・造成工事  
十六億四千三百万円



総務企画常任委員会

### 事業計画

開発区域面積三十五・

五〇 住宅地六・四〇

戸別二百二区画、集合住

宅一区画 企業用地一・

七 一区画 福祉施設用

地四・五 〇 其他公共  
施設二十二・九 〇 公園  
（八カ所）・道路・調整池  
（三カ所）・緑地及び自然  
地等である。  
造成工事期間は平成



山王台団地